

整備事業(産地競争力の強化) (長野県 平成25年度実施事業)

(長野県 平成28年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
				計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成27年)				達成率	計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)				目標値(平成27年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他	
箕輪町	上伊那農業協同組合	土地利用作物(稲)	10a当たりの物財費の引き下げ	92,973円	95,525円	90,872円	88,698円	87,829円	83.1%	10a当たり物財費4,275円引き下げ H27 物財費 4,339千円 作付面積 489.2a	土地利用作物(稲)	品質分析のタンパク質の向上、食味の向上	品質分析のタンパク質 6.17% 食味値76	品質分析のタンパク質 5.92% 食味値76	品質分析のタンパク質 6.37% 食味値73	品質分析のタンパク質 5.35% 食味値75	品質分析のタンパク質 5.37% 食味値78	26.3%	タンパク質0.82%数値減 品質分析のタンパク質 102.5% 食味値 -50%	共同育苗センターの播種プラントの増強 1,500箱/hr	24,255,000	9,240,000			15,015,000	H26.1.30	事業実施により、目的としていた中苗から種苗への供給の切り替えが順調に推移してきている。 タンパク質の値は0.82%減となり効果がみられたが、食味値については登熟期の日照不足により生育が十分でなかったため目標を下回った。 今後は、疎植栽培の推進などによりさらなるコスト削減と、栽培技術の向上に努めていきたい。	中苗と種苗の供給割合が事業実施前の31.5%:68.5%であったものが、H27実績では16.3%:83.7%と着実に切り替えが進み、事業実施による効果の発現が伺える。 目標の1%:99%には若干達していないが、今後ともコスト削減の取組として推進していく。 また、タンパク質は目標に達したが、食味値については目標に達していないため、栽培技術の向上を図る必要がある。		
大町市	大北農業協同組合	畑作物・地域特産物(そば、その他)	契約栽培の割合を増加	37% 92.9ha/252.0ha	未稼働	57% 153.9ha/270.0ha	80% 208.0ha/260.0ha	77% 193.3ha/250.0ha	107.5%	契約栽培の割合が43%↑増加 栽培面積 260.0ha うち契約栽培面積 208.0ha	畑作物・地域特産物(そば、その他)	10a当たりの労働時間を削減	3.2時間	未稼働	3.2時間	2.8時間	2.69時間	78.4%	10a当たりの労働時間が0.4時間削減 (作業時間を作業日誌帳に記録し、集計) H27実績 土改剤散布0.2h、耕起作業 0.5h 施肥播種 0.5h、畦畔除草 1.0h 収穫運搬 0.1h、乾燥調整 0.5h)	乾燥施設60石4基 処理量248t/年	46,200,000	20,000,000	0	0	26,200,000	H26.1.27	適期収穫と乾燥技術向上により実需者の信頼が高まり契約栽培の割合が増えるとともに、労働時間の削減や乾燥施設の効率的な運営が向上した。 水田比率の高い北安曇地域でのH30年以降の水田農業経営に効果が期待出来る。	乾燥施設の整備により、実需者との信頼関係が向上し、契約栽培の割合が増えるとともに、労働時間の削減や乾燥施設の効率的な運営が向上した。 水田比率の高い北安曇地域でのH30年以降の水田農業経営に効果が期待出来る。		
阿南町	阿南町	土地利用型作物(稲)	契約取引の割合を増加	4.4% 90俵/2,060俵(精米)	97.98% 5,303.5俵/5,413俵(精米)	97.1% 6,665俵/6,865俵(精米)	96.2% 6,240俵/6,487俵(精米)	27.4% 740俵/2,700俵(精米)	399.1%	町内集荷量 6,487俵 うち契約取引量 6,240俵	土地利用型作物(稲)	1等比率の割合を増加	52% H18~24の7中5平均	78%	78%	86%	60%	425.0%	検査数量 7,166俵 うち1等米 6,198俵	精米ユニット1基 処理量600kg/hr 食味計1台 4項目 保冷庫1基 50㎡	24,255,000	12,127,000			12,128,000	H25.12.12	事業目標が達成され、農業者の生産意欲が向上し、耕作放棄地の増加速度が緩和された。また、米の品質管理が徹底され、1等米比率が向上し、成果目標が達成された。	契約取引により米の販路が確保されたため、生産意欲が向上し、耕作放棄地の増加速度が緩和された。また、米の品質管理が徹底され、1等米比率が向上し、成果目標が達成された。		
塩尻市	長野県	畑作物・地域特産物(その他飼料作物)	飼料用とうもろこしの単収を増加	5,290kg	-	5,330kg	5,703kg	5,720kg	96.0%	H26年は国の統計データ、H27年は国の統計データがないことから、果畜産試験場の調査データにより算出。	-	-	-	-	-	-	-	-	近赤外線飼料分析装置 一式	5,460,000	2,730,000	2,730,000	0	0	0	H25.10.30	分析結果のフィードバックにより、バランスの取れた飼料設計が可能となり、品質の高い飼料生産に向けた栽培管理の徹底により、単収が概ね目標を達成できた。	分析結果のフィードバックにより、バランスの取れた飼料設計が可能となり、品質の高い飼料生産に向けた栽培管理の徹底により、単収が概ね目標を達成できた。		
阿智村	阿智村	畑作物・地域特産物(菊芋)	新品種の作付け面積の割合を増加	0% 0.0ha/2.0ha	0% 0.0ha/2.0ha	18.0% 0.36ha/2.0ha	31.5% 0.63ha/2.0ha	17.5% 0.35ha/2.0ha	180.0%	作付面積2.0ha、 新品種作付面積63a	畑作物・地域特産物(菊芋)	地場産加工の量が22%以上増加	40%	40%	53.8%	67.3%	62.2%	123.0%	全加工量52t 地場加工量35t	温風乾燥施設1台 処理量 19t/年	13,125,000	6,562,000			6,563,000	H26.3.17	加工量が大幅に増加した。新品種の作付面積増加も進んできている。	加工能力の向上により加工期間が短縮するとともに、廃棄ロスが減少し生産量が向上した。また生産意欲が向上したことにより新品種の作付面積も増加しており、成果目標が達成された。		
木曾町 木祖村	木曾農業協同組合	野菜(はくさい、スイートコーン、インゲン)	単位面積当たりの販売額を増加	504,698円/10a	833,600円/10a	840,317円/10a	944,031円/10a	581,061円/10a	575.3%	販売額が現況より87%上回った【はくさい】 H24現況504,698円/74ha →H27実績649,931,216円/70.7ha 【スイートコーン】 H24現況-円/-ha →H27実績12,898,640円/1.5ha 【インゲン】 H24現況-円/-ha →H27実績28,200,966円/1.0ha	野菜(はくさい、スイートコーン、インゲン)	再編後の施設利用率が100%以上	-10.1%	96.7%	102.8%	93.3%	100%	93.9%	取扱数量 H27実績 5,899 t はくさい 5,835 t スイートコーン 43 t インゲン 21 t 5,899/6,321=93.3%	野菜予冷施設2ヶ所 ①冷却機器他 一式 処理量2866.2t/年 ②冷却機器他 一式 処理量3454.8t/年	45,150,000	21,500,000			23,650,000	H26.3.18	青果物の販売単価が高値で推移したこともあり単位面積当たりの販売額が目標を上回った。施設の利用状況は作物の作付面積減少により目標を下回った。	白菜栽培農家の高齢化により栽培面積が減少傾向にあるため、新たな担い手確保と多収栽培の徹底を図る必要がある。		

都道府県平均達成率	192.5%	総合所見	成果目標は、おおむねの事業において達成となっている。 大北農協の事業については成果目標は達成しているが、利用率が低いことから、目標が早期に達成されるよう市町村等関係機関と連携し、事業主体に対してそれぞれの状況に合わせた改善指導を行う。
-----------	--------	------	--